

新潟県との意見交換会（概要）

〈対外活動部会 新潟地域委員〉

日時	令和5年10月26日（木） 15:00～17:00
会場	新潟東映ホテル
出席者	新潟県：深田土木部長、江部技術管理課長、小山道路管理課長、酒井河川管理課長、鍋倉砂防課長、安井都市整備課長、水倉新津地域整備部長、原田津川地区振興事務所長、中川長岡地域整備部長、水上小千谷維持管理事務所長、山内南魚沼地域整備部長、逢坂妙高砂防事務所長、高野糸魚川地域整備部長、安藤佐渡地域整備部長 北陸支部：大平副支部長、渡邊運営委員長、小見運営委員、青木総務部会長、岩澤新潟地域委員長、神田技術部会長、齋藤広報部会長、田邊・中田・坂井・外川・坂西新潟地域委員、佐々木事務局長

◆挨拶

○深田土木部長

一般社団法人建設コンサルタント協会北陸支部におかれましては、日頃から本県の建設行政の推進にあたり格別のご理解とご協力をいただき、御礼を申し上げます。

県土木部では、「県民の命と暮らしを守る防災・減災対策」「社会資本の老朽化対策」「交通ネットワークの整備」などに取り組んでおります。これらの取り組みを着実に進めていくために、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策をはじめとして、有利な財源を最大限に活用して事業費の確保に努めているところです。

6月に国土強靱化基本法が改正され、予算規模や施策の内容について、今後、国土強靱化実施中期計画が策定され、法定化されるということです。県といたしましては、国土強靱化事業が継続的・安定的に取り組めるよう、期待をしているところです。貴支部からも、中長期的な見通しを持って、仕事に取り組めるようになればと考えております。安全に安心して暮らせる県土づくりを実現するため、引き続き貴支部からのお力添えをいただき進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、本日この意見交換会が有意義でありますことをご祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



○大平副支部長

日頃、協会活動に対し、ご理解ご支援そしてご協力をいただき重ねてお礼申し上げます。

意見交換会に先立ちまして、3点お話をさせていただきます。

1点目は、働き方改革の対応へのお礼です。長時間労働の是正を喫緊の課題として取り組んでまいりましたが、新潟県におかれましては、早期発注や柔軟な繰り越し対応などいただいたおかげで改善に向かっております。引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。また、コロナ禍を乗り越え、新常态として、リモートワーク、ワーケーションといった新しい働き方を模索する動きが始まっております。

私ども業界も、働きがいと魅力のある業界に変わっていくためには、この働き方改革をさらに進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

次に、2点目でございますが、安定した受注量の確保に対するお願いでございます。新潟県におかれましては、行財政改革行動計画に基づき、投資的経費の削減の方針が示され、実施に移されているところでございます。県からも仕事を多くいただいております地域コンサルタントは、この影響をおおいに直接的に受けております。今後、DXの推進に向けた投資や持続的な賃上げを実施するためには、適正な利潤の確保が不可欠であります。このことをどうかお酌み取りいただき、安定的な受注量の確保について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

最後に3点目でございますが、地方のインフラ老朽化に対して貢献していきたいということでございます。ご承知のように、市町村を中心とした地方のインフラ老朽化対策は喫緊の課題となっております。国では地域インフラ群再生戦略マネジメントを掲げ、地域が総力でインフラを守っていく、新しいマネジメントの仕組みの構築に向けた取組みを開始しました。地域コンサルタントは、現場に近いという特性から、点検、診断、そして設計、いわゆるメンテナンスサイクルにおいて、継続的、そして効率的に実施することが可能でございます。新しい技術の習得など技術力の向上を図り、インフラメンテナンスの専門家として、しっかり貢献していきたいと考えておりますので、どうか積極的な活用をお願い申し上げます。

本日の意見交換会が実りあるものとなりますことをお願い申し上げ、私の挨拶といたします。よろしく願いいたします。



◆意見交換

I. 担い手確保・育成のための環境整備について

(1) 働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取組みの推進

- 納期平準化への取組み；納期目標設定と目標に連動した発注計画の作成・公表、ゼロ債務の設定、包括的な債務枠の設定、債務枠の当初予算への計上
- 適切な工期設定；履行に必要な適切な工期設定の徹底
- ワークライフバランスの改善に向けての取組みの推進

【主な回答】

●納期平準化への取組み、適切な工期設定

- ・令和4年3月に発出した「新・6つの取組」により、計画的な発注、適切な履行期限の設定、繰越制度の弾力的な運用について、毎年職員を対象とする説明会でも周知し、より一層徹底したい。

●ワークライフバランスの改善へ向けての取組み

- ・ウィークリースタンス等については、平成29年に通知文書を出しており、毎年、職員向けに開催している説明会で周知徹底を図り、取組みを継続的に確実に行うよう進めたい。

(2) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備

- インフラ整備の中長期的な事業計画に基づく安定的な事業量の確保；一定程度の設計ストックの確保、投資事業規模の更なる見える化と継続的な新規事業の掘り起こし、施設点検状況と今後の補修・更新の事業量確保の見通し、県の事業規模の見通し

【主な回答】

●安定的な事業量の確保

- ・地方財政措置が有利になる5か年加速化対策や起債制度を最大限活用し、必要な事業量確保に努めたい。

●国土強靱化に関する施策推進

- ・5か年加速化対策終了後も国土強靱化に必要な予算・財源の確保について、引き続き国に要望している

●施設点検状況と今後の補修・更新の取組み方針

- ・新潟県土木部社会資本維持管理計画に基づき優先度評価を行いながら、補修・更新を順次実施している。

●中長期的な発注見通し

- ・令和3年12月から北陸ブロック発注者協議会の取組みとして、北陸地方整備局がまとめて公表しており当面継続したい。

●投資事業規模の見通し

- ・国土強靱化中期計画の動きを注視しているところ。点検費用、老朽化対策、雪対策など新潟県に必要なメニューが含まれるよう要望したい。

Ⅱ. 品質の確保・向上について

- 三者会議の積極的な実施
- 適切な入札に向け、県が実施している様々な施策の市町村への積極的な情報提供
- 「新・6つの取組」の継続的な取組みの徹底
- 施工計画図（任意仮設、指定仮設）の取り扱い
- 優良業務委託証・優良業務委託優秀技術者証の試行継続

【主な回答】

●三者会議の積極的な実施

- ・平成19年度から本格運用しており、年間50件前後実施している。毎年の説明会でも積極的な活用を周知している。

●適切な入札に向け、県が実施している様々な施策の市町村への積極的な情報提供

- ・通知や説明会で市町村に情報提供する。

●「新・6つの取組」の継続的な取組みの徹底

- ・毎年職員を対象とする説明会で周知徹底を図る。

●施工計画図（任意仮設、指定仮設）の取り扱い

- ・設計計上が必要な指定仮設については、適切に歩掛計上するよう努めている。不明であれば、受発注者間で協議してほしい。

●優良業務委託証・優良業務委託優秀技術者証の試行継続

- ・試行を始めて3年目となる。今後も試行を続けたい。

Ⅲ. 建設DXの推進について

- BIM/CIM活用に向けた取組み方針、現状と今後の見通し、早期の情報提供
- 入札参加資格審査の電子化と一元化
- 電子契約の運用面も含めた継続的な取組み
- Web方式（打合せ、検査）の積極的活用

【主な回答】

●BIM/CIM活用に向けた取組み方針、現状と今後の見通し、早期の情報提供

- ・CIM実施要領の年度内作成を目標としている。早期情報提供に努めたい。段階的に進めていきたい。

●入札参加資格審査の電子化と一元化

- ・自治体ごとに入札参加業種や総合評点の算出方法などを設定し、申請様式や受付方法が異なるため、現時点では困難な状況である。

●電子契約の運用面も含めた継続的な取組み

- ・10月から始まったところであり、意見を聞きながら改善に取り組みたい。

●Web方式（打合せ、検査）の積極的活用

- ・コンサルタント業務では、初回と納品時を除く中間の打合せ等でWeb活用を可能としている。引き続き積極的に活用したい。地域機関から大画面プロジェクターの要望も出ている。



【会場の模様】